

(2) 正解 2

訳 A: キャスリン、何時間もその本読んでるけど面白い？

B: ええ。主人公にすごく親近感を覚えるのよ。困難な状況に私と同じように対応するのよ。

- 1 strain 「重圧」
- 2 kinship 「親近感」
- 3 indifference 「無関心」
- 4 conflict 「葛藤」

→ 語句Check! kinship (名) 親戚関係、親近感 = affinity, sympathy indifference (名) 無関心
 ⇔ interest, concern conflict (名) (個人や国家間の) 衝突、(心理的な) 葛藤

解説 話者Bが最後の文で「小説の主人公が自分と同じように行動する」という趣旨の発言をしていることを踏まえて、この人がその主人公にどんな感情を抱くのかを考える。選択肢2のkinshipが正解。

(3) 正解 3

訳 A: ジョー、大学で英文学の授業を取らないといけなかったって聞いたけど。

B: そうなんだよ、父さん。あんまり取りたくないけど、1年生は必修なんだ。

- 1 hypothetical 「仮定的な」
- 2 divine 「神聖な」
- 3 compulsory 「必修の」
- 4 biased 「偏見のある」

→ 語句Check! hypothetical (形) 仮定的な [← hypothesis (名) 仮説] compulsory (形) 義務的な = mandatory ⇔ optional biased (形) 偏った ⇔ impartial, neutral

解説 父親と息子のやり取りから、息子の方が自分の意志に反して大学で英文学の授業を取らなくてはいけないと分かる。このことを考えると、当然のことながらその授業は「必修」科目でなければならない。

(4) 正解 2

訳 政権はいくつかの政府機関を民営化するつもりだ。営利団体として運営した方がもっと効率的になると信じているのだ。

- 1 inhibit 「抑制する」
- 2 privatize 「民営化する」
- 3 originate 「創設する」
- 4 summon 「召喚する」

→ 語句Check! inhibit (動) 抑制する = restrain privatize (動) 民営化する [← private (形) 民間の] originate (動) ~を始める、起こす = create

解説 目的語が“several government agencies”であることに注目する。第2文で代名詞theyに置き換えられて登場するが、“commercial organizations”になることが仮定されている。「政府機関」が「営利団体」になるには、「政府機関」の「民営化」が必要。

(5) 正解 4

訳 サラは頭が良くて意欲もあるが、彼女が大学で良い成績を取るには障害がある。金
があまりないことと、病気の母親の介護をしなくてはいけないことが特に問題だ。

- 1 excursions 「小旅行」
- 2 intervals 「間隔」
- 3 ornaments 「装飾」
- 4 obstacles 「障害」

→ **語句Check!** excursion (名) 遠出、小旅行 =
trip, outing ornament (名) 装飾 = decoration
 obstacle (名) 障害 (物) = barrier

解説 副詞notablyに注目する。この語はespeciallyの同義語だが、この文
では前述の名詞句“() to her academic success”を例示するために使われ
ている。「金がないこと」や「母親の介護の必要性」は、「良い成績を取る
ための障害」と考えるのが自然。

(6) 正解 3

訳 A: スティープ、もっとインパクトを出すために私たちのプレゼンにいくつかスラ
イドを追加した方がいいかしら?

B: いや、僕は今ある資料で通すのがいいと思うんだけど。プレゼンまであと1時間もないん
だし。

- 1 sign in 「～の到着を署名で記録する」
- 2 turn against 「～に敵対する」
- 3 stick with 「～で通す」
- 4 block out 「～を遮断する」

→ **語句Check!** would rather V む
しろVしたい、Vする方がいいと思う stick
with ～を堅持する、～を続行する = continue
with

解説 プレゼン前の2人の同僚の会話だと分かる。話者Aは新しい資料を加え
ようとしているが、話者Bは乗り気ではない。「手元の資料だけを使いたい」
という意味内容にするには、選択肢3を空所に入れるのが最もよい。

(7) 正解 3

訳 ベロニカは、宝くじに当選したと分かってから、気持ちが落ち着いて夫に電話し吉
報を知らせることができるようになるまで数分かかった。

- 1 fade out 「次第に消えて」
- 2 stop off 「途中で立ち寄って」
- 3 settle down 「気持ちが落ち着いて」
- 4 stay over 「他人の家に泊まって」

→ **語句Check!** lottery (名) 宝く
じ、くじ引き settle down (気持ちが)
落ち着く = calm down

解説 宝くじに当選してからどうなるまでに数分かったのか考えると、「気持ちが落ち着く」以外にないだろう。「夫に電話し吉報を知らせる」というその後の内容と合わせても文意が自然に通る。

第1パラグラフの問題文

Work and Gender in the United States

ココに注目!

1When large numbers of American women began to enter the workforce in the 1970s, a struggle over labor equality began. (2)Married women felt they were spending a greater share of their time working than their husbands, since in addition to their paid jobs, they were also responsible for most household chores. (3)Sociologist Arlie Russell Hochschild's best-selling book *The Second Shift*, published in 1989, (8)confirmed this belief. (4)Her research showed that women worked in total an average of 15 hours more than men per week. (5)Those figures, however, were based on data collected in the 1960s and 1970s. (6)Now, the picture has changed.



語句Check!

- workforce (名) (会社の) 全従業員、(国や地域の) 労働力 = staff, labor force
- struggle (名) 闘争、論争；(動) 苦闘する、苦勞する
- chore (名) 日課、雑用
- confirm (動) 確認する、裏付ける [→ confirmation (名) 確認]
- average (名) 平均値；(形) 平均の、標準的な

第1パラグラフの訳

アメリカにおける職業と性別

[1] (1)大勢のアメリカの女性たちが1970年代に就業を始めた際、労働上の平等を巡る論争が起こった。(2)有給の仕事に加えてほとんどの家事も受け持っていたので、既婚女性たちは自分の夫たちよりも働いている時間が長いと思っていた。(3)1989年に出版された社会学者のアーリー・ラッセル・ホックシールドのベストセラー著書『セカンド・シフト 第二の勤務』は (8) この考えを裏付けた。(4)彼女の調査は、女性が男性よりも1週間あたり合計で平均15時間長く働いていることを示した。(5)しかしながら、こうした数字は1960年代と1970年代に収集されたデータに基づくものだ。(6)今では状況が変わっている。